



『剣道に学び人に学ぶ』

佐賀県

北茂安少年剣道クラブ

中学2年生 下川 嘉子

私は剣道を習い始めて6年が過ぎ7年目になります。しかし私は6年生の時、階段をおりていて後ろから押されて左足の親指が麻痺してしまい7ヶ月間松葉杖の生活をしました。その間はずっと剣道は休んで学校へ行くのも車で送り迎えをしてもらおう生活となりました。そして、毎日病院へ行きリハビリをしたり色々な機械で治療したり少しでも早く治るように夜遅くまで治療を続けました。そして、中学1年の5月から剣道をやり始める事ができるようになりました。久しぶりにする剣道はとてもきつく、7ヶ月間足を使っていなかったのがひざが痛くなったり、こしが痛くなったり長時間立つのもつらく感じ以前のような動きも出来ず少し練習するだけで息がきれたり、体力がない事が自分でもわかるほどでした。私は練習しながら、体が元に戻るように病院へ行き中学1年の時は選手の人達の応援にまわり、色々なお世話をしていました。男子は昨年、全中に出場する事になりその時も着いて行きました。試合場では、大雨の降る中びしょぬれになり選手の竹刀を運んだり、防具を運んだり、選手の着替えをホテルに帰り夜遅くまで洗濯してあげたり、自分が出来る事はお手伝しました。ほかにも中体連では凍った手拭きタオルを選手が使った後は、洗って氷の入ったクーラーボックスの中に入れてまたすぐに使えるように用意してあげたり、氷のうに氷を入れて体を冷してあげたりと、そんな事しか私には出来なかったですが選手の人達が少しでもベストの体調で試合に望めるようにやり続けました。

そして、2年生になり私はまだまだ体も思うように動かず自分の中で早く以前のように動けるようになり小学生の頃のような試合をしたいと思いつつ今も剣道を続けています。剣道では、まだ成果を出す事はなく何度も「辞めた方がいいのかも」と思う毎日が続いていました。

しかし、先日職場体験へ行き「よく気が利くね。やっぱり剣道をしていると気が付く所が違うね。」とっていただきました。私は「剣道をしているから？」と自分を振り返りました。たしかにみんなのお世話をする事で色々な心配りを身に付けられたと思います。その事が役に立ちとても嬉しかったです。これは剣道を続けていなかったら気付かなかったと私自身感じました。私が職場体験に行った所は保育園でした。保育士の先生方は子供の様子を見ながら、色々な事に気付かれ動かれていました。私はすごい仕事だと思いました。私は、小さい子供と接してとても心が和みました。そしてなにより私が驚いたのは何か一緒にしたり、手伝ってあげると「ありがとう」と言う言葉をかけてくれた事です。まだ小さい2歳から5歳の子供達なのに大きな声で元気よく言えるなんて、ちゃんと相手の人に対しての感謝の気持ちを言葉にして表現できるなんてすごい子供達だと思いました。この子供達は、剣道をやっている私よりすばらしいと思いつつ、自分を振り返り子供達に学ばせてもらったように感じました。剣道は「礼に始まり礼に終り」とよく聞きます。私もこの子供達から学んだ事を忘れずに剣道を続けようと思います。剣道をしていて恥かしくない行動がとれるようになりたいと思います。そして、礼儀を重んじる中で剣道をしたいと思っています。